

## 海賊問題の現状

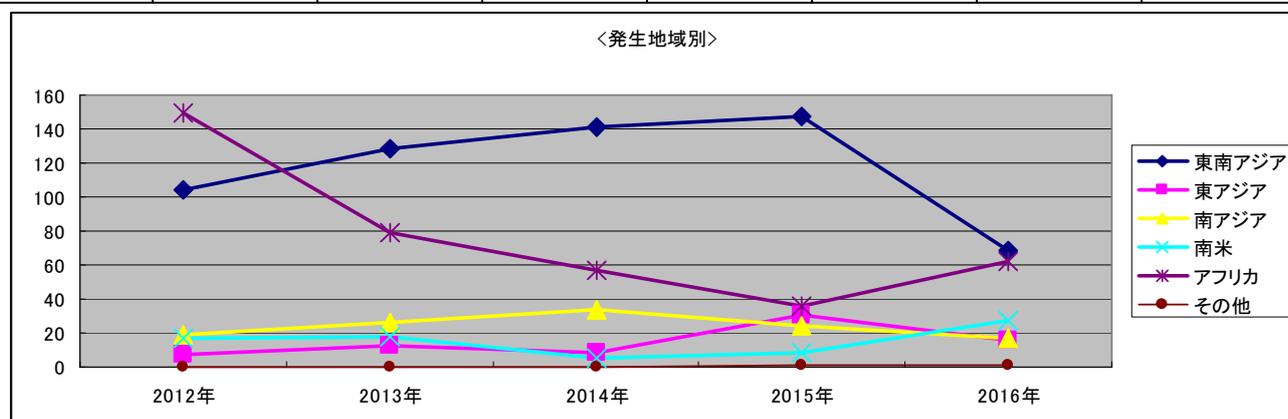
今回の Topics では、国際商業会議所(ICC)の国際海事局(IMB)が発行した「2016 Annual Report」(2017年1月10日公開)(注1)をもとに、世界の海賊問題の現状をご紹介します。

### 1. 海賊事件の発生件数

2016年の1年間(2016年1月1日~12月31日)、全世界で合計191件の海賊および武装盗難事件(未遂も含む)がIMB海賊通報センター(PRC)に通報されています。この件数は2015年の246件から大幅に減少した上、1998年以降過去18年間で最も少ない水準となっています。191件の各分類による内訳と過去5年間の推移は以下の通りです:

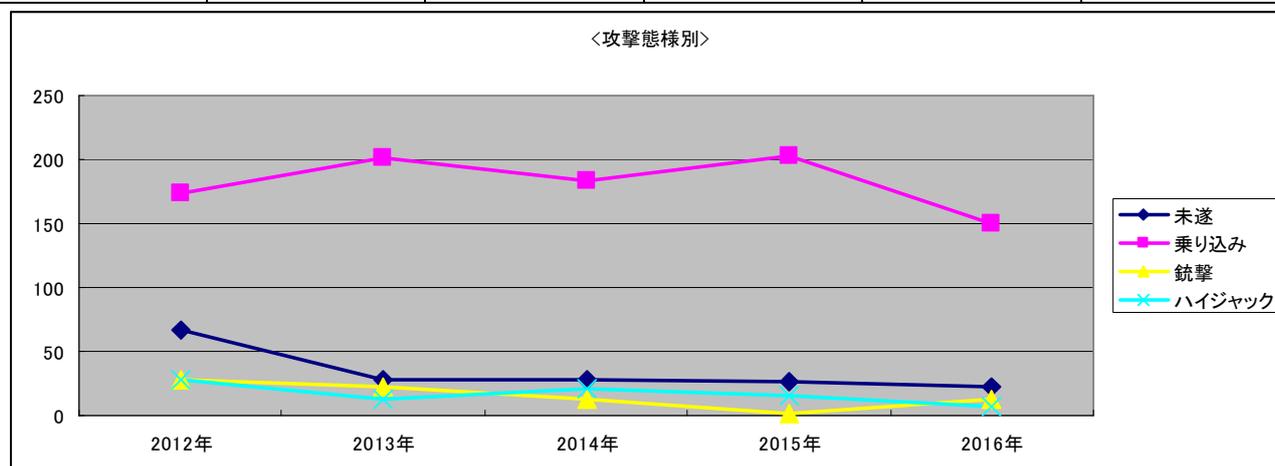
<発生地域別> (単位:件数)

|       | 東南アジア | 東アジア | 南アジア | 南米 | アフリカ | その他 | 合計  |
|-------|-------|------|------|----|------|-----|-----|
| 2012年 | 104   | 7    | 19   | 17 | 150  | 0   | 297 |
| 2013年 | 128   | 13   | 26   | 18 | 79   | 0   | 264 |
| 2014年 | 141   | 8    | 34   | 5  | 57   | 0   | 245 |
| 2015年 | 147   | 31   | 24   | 8  | 36   | 1   | 246 |
| 2016年 | 68    | 16   | 17   | 27 | 62   | 1   | 191 |



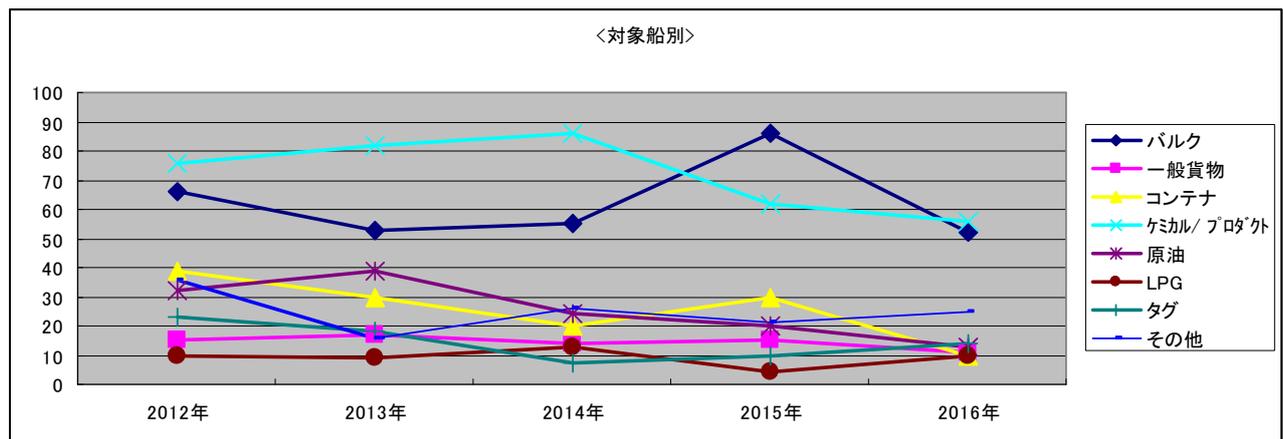
<攻撃態様別> (単位:件数)

|       | 未遂 | 乗り込み | 銃撃 | ハイジャック | 合計  |
|-------|----|------|----|--------|-----|
| 2012年 | 67 | 174  | 28 | 28     | 297 |
| 2013年 | 28 | 202  | 22 | 12     | 264 |
| 2014年 | 28 | 183  | 13 | 21     | 245 |
| 2015年 | 27 | 203  | 1  | 15     | 246 |
| 2016年 | 22 | 150  | 12 | 7      | 191 |



### ＜対象船別＞（単位：件数）

|       | バルク | 一般貨物 | コンテナ | ケミカル/<br>プロダクト | 原油 | LPG | タグ | その他 | 合計  |
|-------|-----|------|------|----------------|----|-----|----|-----|-----|
| 2012年 | 66  | 15   | 39   | 76             | 32 | 10  | 23 | 36  | 297 |
| 2013年 | 53  | 17   | 30   | 82             | 39 | 9   | 18 | 16  | 264 |
| 2014年 | 55  | 14   | 20   | 86             | 24 | 13  | 7  | 26  | 245 |
| 2015年 | 86  | 15   | 30   | 62             | 20 | 4   | 10 | 21  | 246 |
| 2016年 | 52  | 11   | 10   | 56             | 13 | 10  | 14 | 25  | 191 |

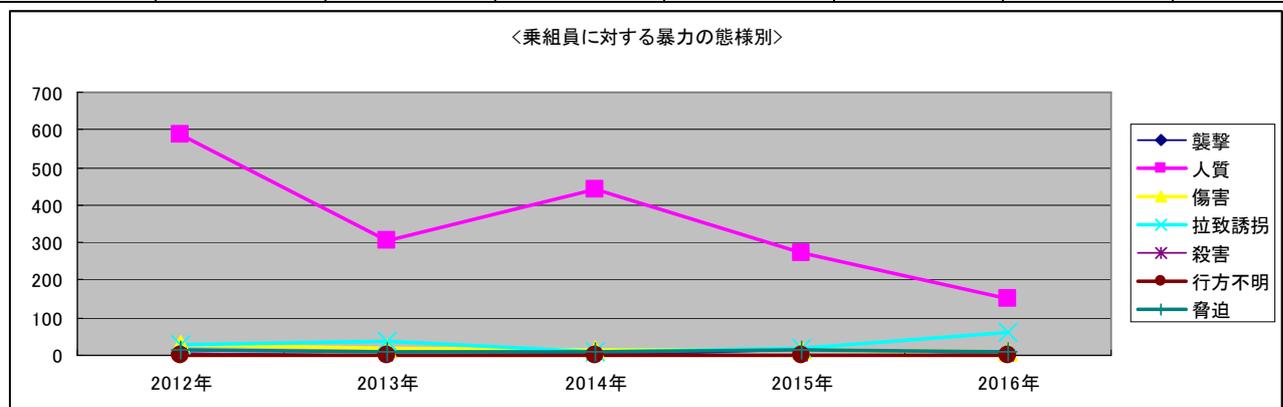


## 2. 乗組員の被害状況

2016年に人質となった乗組員の数は151名と、2015年の271名から大幅に減少しました。しかし、2016年に身代金目的で拉致(Kidnapping)された乗組員の数は62名と、2015年の19名から大幅に増加しています。2016年は過去10年間で最も多く乗組員が拉致された年となりました。IMBは各国政府に対し、拉致犯の調査・特定と法の下での処罰を要請しています。

### ＜乗組員に対する暴力の態様別＞（単位：人数）

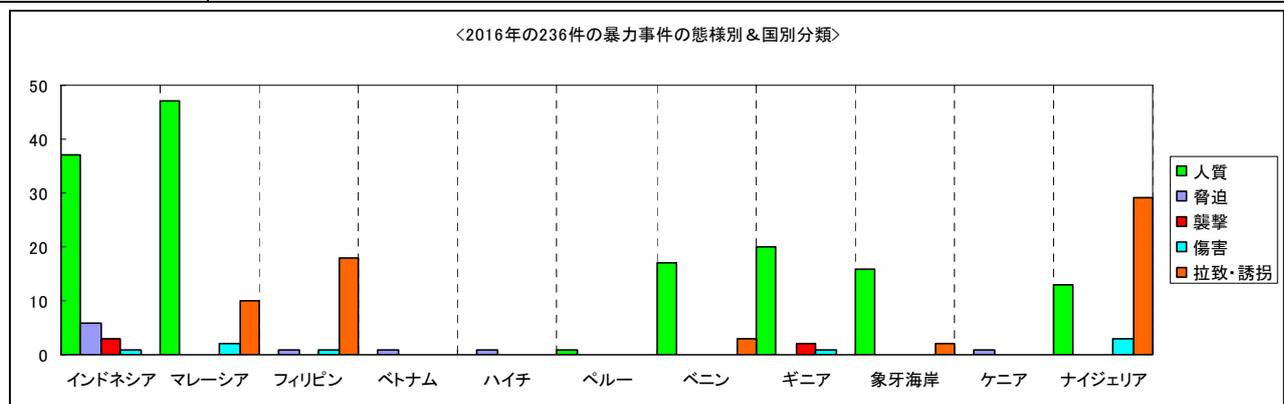
|       | 襲撃 | 人質  | 傷害 | 拉致誘拐 | 殺害 | 行方不明 | 脅迫 |
|-------|----|-----|----|------|----|------|----|
| 2012年 | 4  | 585 | 28 | 26   | 6  | 0    | 13 |
| 2013年 | 0  | 304 | 21 | 36   | 1  | 1    | 10 |
| 2014年 | 1  | 442 | 13 | 9    | 4  | 1    | 9  |
| 2015年 | 14 | 271 | 14 | 19   | 1  | 0    | 14 |
| 2016年 | 5  | 151 | 8  | 62   | 0  | 0    | 10 |



また、拉致事件の半数以上が西アフリカ沖で発生しており、マレーシアとフィリピン付近で28名が拉致されています。

&lt;2016年の236件の暴力事件の態様別&amp;国別分類&gt; (単位:人数)

|        | 人質  | 脅迫 | 襲撃 | 傷害 | 拉致・誘拐 |
|--------|-----|----|----|----|-------|
| インドネシア | 37  | 6  | 3  | 1  | 0     |
| マレーシア  | 47  | 0  | 0  | 2  | 10    |
| フィリピン  | 0   | 1  | 0  | 1  | 18    |
| ベトナム   | 0   | 1  | 0  | 0  | 0     |
| ハイチ    | 0   | 1  | 0  | 0  | 0     |
| ペルー    | 1   | 0  | 0  | 0  | 0     |
| ベニン    | 17  | 0  | 0  | 0  | 3     |
| ギニア    | 20  | 0  | 2  | 1  | 0     |
| 象牙海岸   | 16  | 0  | 0  | 0  | 2     |
| ケニア    | 0   | 1  | 0  | 0  | 0     |
| ナイジェリア | 13  | 0  | 0  | 3  | 29    |
| 小計     | 151 | 10 | 5  | 8  | 62    |
| 合計     | 236 |    |    |    |       |



### 3. 各地域の状況

#### (1)スールー海域(Sulu Seas)

スールー海域での外航船乗組員の拉致事件の発生数に顕著な増加がみられます。2016年第4四半期に、航行中の2隻の貨物船と錨泊中の1隻の漁船から12名の乗組員が拉致されました。さらに、乗り込み事案には至らなかったものの、ばら積み船への銃撃事件も11月に発生しています。この海域の海賊は、アブサヤフ(Abu Sayyaf)と協力関係にある武装組織に繋がっているものとみられています。かつては、速力が遅く高さが低いタグやバージが主な標的でしたが、最近では一般商船も攻撃対象になりつつあり、この地域での拉致事件の増加が懸念されています。IMBは、航行船舶に対し、カリマンタン島西側を通航するなどして、スールー海域を避けるよう推奨しています。

#### (2)ナイジェリア

2016年のナイジェリア沖での海賊事件件数は2015年の14件から36件に増加しています。また、ギニア湾では2016年に9件の海賊事件で34名の乗組員が拉致され、3隻の船舶がハイジャックされました。依然として拉致事件の多発地域といえます。また、2016年に全世界で発生した発砲事件12件のうち9件がこの地域で起きています。

#### (3)インドネシア

2016年のインドネシアの海賊事件件数は2015年の108件から49件に減少しています。インドネシア海洋警察(Indonesian Marine Police)によるパトロールが効果を上げているとみられています。大部分は軽度の盗難事件ですが、ほぼ全件で海賊が船舶に乗り込んでいます。

#### (4)ソマリア

IMB は 2016 年にソマリア沖にて 2 件の海賊事件を報告しています。5 月にアデン湾にて海賊によるコンテナ船への襲撃未遂事件が発生し、10 月には沿岸から約 300 マイル沖にてプロダクトタンカーへの銃撃事件が発生しました。IMB は、これらの事件がソマリア沖の海賊に商船を攻撃する能力と意図が依然として存在することを示しているとみています。

#### (5)その他の地域

##### ①ペルー

2016 年の海賊事件件数は 2015 年の 0 件から 11 件に増加しています。うち 10 件が同国主要港のカラオ(Callao) 港にて発生しています。

##### ②ベトナム

2016 年のブンタウ(Vung Tau)での海賊事件件数は 2015 年の 15 件から 7 件に減少しています。錨地での事件が増えています。

##### ③インド

2016 年の海賊事件件数は 2015 年の 13 件から 14 件に僅かに増加しています。主にカンドラ(Kandla)港の港内と錨地で事件が発生しています。

##### ④中国

2016 年の海賊事件件数は 2015 年の 4 件から 7 件に僅かに増加しています。多くが天津港錨地での盗難事件のようです。

##### ⑤バングラディッシュ

かつてはチッタゴン(Chittagong)の錨地にて多くの事件が発生していましたが、2016 年の海賊事件件数は 2015 年の 11 件から 3 件に減少しています。

##### ⑥マラッカ海峡

2005 年以降の沿岸国当局によるパトロールにより、通報事件数は減り続けています。

#### **4. IMB からの注意喚起**

1991 年から世界の海賊事件を監視している海賊通報センター(PRC)を所管する IMB の Director の Pottengal Mukundan 氏は、「海賊事件数の継続的な減少は良いニュースだが、特定の航路は依然として危険な状況であり、いくつかの海域で乗組員拉致事件が増加傾向にある。特にマレーシア東部とフィリピンの間のスルー海域での拉致事案が今後は懸念される」と語っており、「船長は最新のベストマネジメントプラクティス(BMP)を順守し、乗り込みを避けるために可能な限り早期に行動を取り、有事の際には IMB や付近の当局に通報して助けを求めるべき。」と改めて注意喚起をしています。

(注 1) <https://icc-ccs.org/index.php/news/1218-imb-report-sea-kidnappings-rise-in-2016-despite-plummeting-global-piracy> に本レポートの入手方法が掲載されています。

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せくださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

以上

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/index2.html](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html)

TOKIO MARINE Topics (船舶)

[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/news/tokiomarine\\_topics/hull.html](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/news/tokiomarine_topics/hull.html)